

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

- 議長 金子 廣司 ただ今の出席議員は8人です。定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。

ただ今から、令和3年第2回月形町議会定例会を開会いたします。

(午前10時00分開会)

直ちに本日の会議を開きます。

(午前10時00分開議)

議事日程第1号は、お手元に配付のとおりであります。

◎ 日程1番 会議録署名議員の指名

- 議長 金子 廣司 日程1番 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員の指名は、会議規則第127条の規定により、議長において

堀 広一 議員

若井 昭二 議員

の両名を指名いたします。

◎ 日程2番 会期の決定

- 議長 金子 廣司 日程2番 会期の決定を議題といたします。

先に、議会運営委員会委員長から、去る5月31日開催の議会運営委員会での本定例会の運営について、報告の申し出がありましたので、これを許します。

- 議長 金子 廣司 議会運営委員会 楠 順一委員長、報告願います。

- 議会運営委員会委員長 楠 順一 ただ今、議長の許可をいただきましたので、第2回定例会の運営について、去る5月31日に開催いたしました議会運営委員会の協議結果について、ご報告いたします。

本定例会に付議され、提案されている案件は、町長の提案に係るものとして、一般会計補正予算ほか5議案、承認2件、報告2件の合わせて9件であり、また、議会から意見案1件、会議案1件の提案を予定いたしております。

一般質問についてであります。5月28日の通告期限までに、4人の議員から通告があり、本日、6月8日に一般質問を行うことにいたしました。

以上のことから、これらの案件を勘案の上、本定例会の会期については、本日と9日の2日間としたところであります。

なお、未だ新型コロナウイルス感染症が収束しておりませんので、議会事務局においても感染予防対策を実施しておりますが、各議員及び町側の出席者におかれましても、それぞれ感染予防対策を徹底されますようお願いいたします。

最後に、本定例会における議員の質疑及び町側の答弁については簡潔明瞭にされ、議事運営に特段のご協力をいただきますようお願いを申し上げ、議会運営委員会の報告といたします。以上です。

- 議長 金子 廣司 以上で議会運営委員会委員長の報告を終わります。

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

お諮りいたします。本定例会の会期は、ただ今、議会運営委員会委員長から報告のとおり、本日8日及び9日の2日間にしたいと思っております。これにご異議ございませんか。（「異議なし」の声あり）

- 議長 金子 廣司 異議なしと認め、会期については、本日8日から9日までの2日間とすることに決定いたしました。

◎ 日程3番 諸般の報告

- 議長 金子 廣司 日程3番 諸般の報告を行います。議長会務報告、例月出納検査結果報告は、お手元に配付のとおりでありますので、ご覧願います。
- 議長 金子 廣司 以上で諸般の報告を終わります。

◎ 日程4番 行政報告

- 議長 金子 廣司 日程4番 行政報告を行います。行政報告については、お手元に配付のとおりでありますので、ご覧願います。
- 議長 金子 廣司 以上で行政報告を終わります。

◎ 日程5番 一般質問

- 議長 金子 廣司 日程5番 これより一般質問を行います。順番に発言を許します。
- 議長 金子 廣司 順番1番 松田順一議員、発言願います。
- 議員 松田 順一 それでは、通告書に従いまして、JR札沼線廃止後のまちづくりについて、一般質問させていただきます。

先般、5月13日の全員協議会で、まちづくり推進室の概要が示され、月形町における重要政策及び施設整備事業を推進するため、集中的に事務事業の検討及び関係機関との調整などを行うことができるための体制整備が必要であることから、特別に企画振興課内にまちづくり推進室を4月1日付けで設置したと報告がありました。

このまちづくり推進室が掲げた政策課題の中には、旧JR石狩月形駅周辺の整備や鉄道用地の譲渡、バス転換に伴う月形小学校グラウンドへの拠点化施設の整備、そして、小学校の中学校敷地への移転、整備など、JR札沼線廃止により、多岐にわたり課題が出てきました。

その他、長年の課題としては、温泉施設等の改修及び道の駅などの観光施設の整備や町営住宅の建て替えなど、老朽化している施設の更新も含めて早急に取り組む必要があると思われまます。

まちづくり推進室は、企画振興課、農林建設課、教育委員会の各係が組織を横断して、政策課題となる事務作業を円滑に推進する目的としているようであります。

以前、櫻庭前町長3期目の平成26年12月定例会で、楠議員による地方創生総合

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

戦略の一般質問によって、庁舎内にプロジェクトチームを組織し、窓口を一本化して農業、福祉、商業等の各部門にまたがるものを、各部門の担当者が議論を交わしながら、トータル的な一つの施策、戦略として練り上げていく必要性があると説いておられました。

また、平成28年4月にJR北海道が機構改革により、地域交通改革部を設置し、JR北海道の北海道医療大学から新十津川間のバス転換を、各々の自治体と話し合う体制づくりをした折、私は同年6月定例会の一般質問で、月形町としても組織で横断的に人員を集め、利用促進対策チームを立ち上げて対応できる体制が必要であると述べさせていただきました。

この間、月形町の地方創生は進まず、JR札沼線は廃止になりました。そのような意味からも、まちづくり推進室の設置は遅きに失したと思われませんが、今からでもまちづくりを推進する体制を確立していただきたいと思います。

しかしながら、このまちづくり推進室の概要説明を聞いて、大丈夫なのかという疑念を抱きました。この設置目的が、政策課題となる事務事業を円滑に推進することであり、主要事務作業を達成するためのデータを収集し、計画、立案し、理事者との協議の上、方針を決定するとしております。よって、推進室が掲げた重要政策が町長の意向がどれだけ反映しているのか。また、具体的な方針、指示があるのかどうか、全員協議会では見えてきませんでした。

このまちづくり推進室の実効性をいかに担保するかは、町長の決意と覚悟が重要に思えます。20年先、30年先の月形町を見据えた町長の考えをお聞きしたいと思います。

○ 議長 金子 廣司 町長。

○ 町長 上坂 隆一 お答えします。本年4月1日に企画振興課を中心に、農林建設課、教育委員会の職員からなる、まちづくり推進室を設置しました。

まちづくり推進室の業務につきましては、議員がおっしゃっておられますように5月13日の全員協議会で、その内容を説明しましたが、4月1日から活動をスタートさせ、この間も住民や各種団体への説明、意見交換を進めているところであります。

今ほど、議員が質問の要旨で述べられたような、取り組まなくてはならない課題や事業は、議員ご指摘のとおりJR札沼線廃止が大きな契機となったことは、間違いありません。80有余年、当然の如く走り続けた鉄路が無くなり、それまで息をひそめていた課題が、それぞれに繋がり、一気に沸き起こったような印象を持っております。それら議員の質問に対しましては、この後の質問と関連いたしますので、一つ一つの事業に関しては、答弁を控えさせていただき、まちづくり推進室の実効性をいかに発揮させ、その取り組みを持続させるのか、そして、それを担保するのは、私の決意によるであろうと考えております。このことに関して、限定して答弁をさせていただきます。

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

これから多くの課題に立ち向かっていくにあたり、モチベーションをどう持ち続けていくことができるのか、どう実行していくのか、これは担当する職員一人ひとりの意欲、やる気によるところが大であります。その意欲ややる気を奮い立たせるのは、議員がおっしゃっておりますように、私の決意であり、その決意を職員にしっかり伝えることであると思っております。

私は、昨年9月の町長選挙で「挑戦」という言葉を掲げさせていただきました。この「挑戦」としたことは、私が前職のとき、この月形の地に赴き、月形町の素晴らしさに触れ、この月形町を大好きになって以降、月形町のまちづくりに日々、思いを馳せ、私の心に収め続けてきたことを、上坂町政2期目に向け、多くの課題に挑戦し、1期目で蒔いた種に、花を咲かせ、実を实らせたいとの思いからであります。このように心にしたためてきた思いを現実のものにしていくため、その駆動力となる組織として、まちづくり推進室を設置させていただきました。どこの部署も限られた人員の中で、通常の業務を正確に早く遂行していくことは大切なことです。しかし、そのような平常業務をこなしていく中においても、町民の皆さんにとって将来を見据えた事業を立案し推進していくのが、私の考えているまちづくり推進室であります。答弁が精神論的になり過ぎている感もありますけれど、私の決断を下支えする職員の政策や立案が相まって、政策が現実のものになっていくものと考えております。私の町長としての決断は、20年先、30年先を見据え、後世の世代にとって、必ずや喜ばれ続けるものであることを強く思い、議員に対する答弁とさせていただきます。

○ 議長 金子 廣司 松田順一議員。

○ 議員 松田 順一 今、町長から答弁をいただきました。ありがとうございます。やはり、町長が言われますように、町長自体が挑戦する意欲、活力を持つ必要があるというのは、そのとおりであると思えます。そして、職員のやる気、モチベーションを常々精査して実行していくことも、指導者であるリーダーの力であるということで、町長の言っていることに同意いたしますし、その力を発揮していただきたいという思いが沸きました。私の質問は、どちらかという、総論的なことになると思えますので、それは非常に大事なことであると思えますので、この本会議で決意されたことを職員と一致協力して頑張っていたいただきたいと思えます。

それでは、次の質問に入りますが、まちづくり推進室の中で、整備事項が多岐にわたっていますが、明確になっていると思えます。ただ、地方創生問題、人口減少の問題が、まちづくり推進室ではあまり考えられていませんけれど、月形町の人口減少問題について、まちづくり推進室で取り扱う必要があるのではないかと疑問を持ちました。その点について、町長にどういう思いがあるか、お聞きしたい。

○ 議長 金子 廣司 町長。

○ 町長 上坂 隆一 今、当面の課題としてやらなければならないことについて、多少、具体的に課題として挙げておりますけれど、今、議員がおっしゃる人口減少問題、

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

今回、国勢調査の速報値が発表され、月形町が一番減少率が高いという報道もされて、私も少しショックを受けておりますけれど、大きくは刑務所の収容人員の差ということでありまして、当然、いろいろな施策を進めていく、そして、20年後、30年後の月形町のグランドデザインをしっかりと考えていきたい。先ほど、議員は、推進室の設置は遅かったのではないかとおっしゃっていましたが、それはそれとして、今から大事な新しい月形町のまちづくり、札沼線の廃止を契機に、人口問題も含めて、大事な課題でありますので、まちづくり推進室が立案、そして、町民の声、私は、何よりもまちづくりについては、町民一人ひとりの主体的な参画が必要であると思っております。子どもからお年寄りまで、まちづくり推進室に多くの方々が出入りし、一緒に主体的に責任を持って20年後、30年後のまちづくりを進めていくというような形になってほしいと思っております。議員も期待しているとおっしゃっていただきましたので、推進室の職員が、私の思いや願いを受け止めて、町民と対話を重ねて、議員の皆さんとも大いに議論しながら、まちづくりを進めていきたいと改めて決意しております。しっかり頑張りたいと思っておりますので、ご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

- 議長 金子 廣司 松田順一議員。
- 議員 松田 順一 今、町長から、我々議員や町民と共に、まちづくり推進室を実効性のあるものにしていくという決意をいただきました。私もそのとおりであると思っております。これから、町長には頑張ってくださいと思いますので、よろしくお願いいたします。以上、私の質問は、これで終わらせていただきます。

- 議長 金子 廣司 順番2番 我妻 耕議員、発言願います。
- 議員 我妻 耕 よろしく申し上げます。通告書に基づきまして、まず、はじめ、月形町における自動積雪深計の設置についてを質問いたします。

令和2年度、今年1月、2月ですが、雪が非常に多かったということで、月形町の総降雪量でも、平成23年、24年以来の12mを超えております。今年5月までの累積降雪量で言えば、累積降雪量という言い方は、アメダスのデータ用語ですが、アメダスのこのデータで、空知管内で岩見沢市が平年に比べて127%の9m45cm、その他、美唄市が平年に比べて93%の7m79cm、深川市、滝川市、芦別市等は平年の81%から59%となっております。ちなみに新篠津村は9m54cm、平年比が114%となっております。これはアメダスの有線ロボット積雪深計によるデータです。

令和2年度は、月形町をはじめ、岩見沢市や新篠津村のあたりが局地的に降雪量が多く、2月24日には吹雪、暴風雪によって、国道275号線や道道が通行止めになり、月形町も温泉ホテルに避難所を設置するなどの対応をすることとなりました。平成23年度の大雪に続き、農業ハウスの被害も出ております。私は農業者なので、農

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

業者で言えば、過去、平成23年に大雪を経験しており、ビニールをはがしてある骨だけの農業ハウスが雪に埋まって、雪が下がるに合わせて姿を現すのかと思いきや、無残に骨が曲げられたハウスが徐々に姿を見せるという状況を経験しております。そのような経験から、今回は、骨だけになったハウスの周りを、雪に埋もれないように何回も除雪し、スコップで掘り起こすといった作業に追われました。それでも、月形町ばかりでなく、近隣の市町村でも農業ハウスなどに被害が出てしまいました。

近年の傾向として、全国、全道で、豪雨、暴風雨、竜巻等の気象変動が極端化し、災害も激甚化しております。今回、大雪ということで、月形町でも激甚災害は例外ではなく、それによる降雪も、除雪体制のひっ迫や、高齢者の孤立、住居の損壊の懸念、そして、雪はねや雪下ろしなどの町職員の多大な労力の提供など、改めて大きな影響を感じる冬でした。

防災については、月形町関連でも雁里地区の遊水地の整備が進み、また、防災対策の設置に取り組む等の動きがありますが、今年1月、2月、この冬についての町長の認識について、お聞かせください。

○ 議長 金子 廣司 町長。

○ 町長 上坂 隆一 お答えします。令和2年度の大雪は、岩見沢市の積雪状況の深刻さが連日ニュースになり、また、砂川市や美唄市では空き家や店舗の倒壊により国道が通行止めになるなど、甚大な被害をもたらしたことについて、改めて空知が大雪豪雪地帯であるということを認識しました。

本町においても、本年1月6日に災害対策連絡会議を設置して、3月22日の廃止までの間に、議員にもおっしゃっていただきましたけれど、独居老人等の除雪支援や公園施設の除雪等、たくさんの職員を動員して実施をしました。改めて大変な冬であったと感じているところでもあります。このことについて、対策等も含めて、今後とも、しっかり取り組む大事な事案であると認識しております。

昨日の建設新聞に、以前に大釜議員から要請のありました除雪体制の充実ということで、大型特殊等の免許取得のための補助体制について、月形町が取り組んでいることを大きく取り上げていただきました。そのようなことも含めて、しっかりと取り組んでいきたい。今年度の大雪で公共施設等の被害もたくさんありましたので、それをしっかり受け止めて、今後とも、対策をしっかり取っていきたいと考えています。

○ 議長 金子 廣司 我妻 耕議員。

○ 議員 我妻 耕 新聞に記事が出たのですね。見ていないのですが、今後もしっかりと雪害に対しての対策は取るということですね。

月形町には、知来乙にアメダスの観測装置として有線ロボット気象計器、降水量や気温、風向、風速、湿度等を測るものは設置されていますが、残念ながら雪の量を測る積雪深計は付随して設置されておられません。

積雪の深さを計測するにあたって、現在、月形町では過去の計器の故障以来、人に

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

よる計測、これは毎日午前8時の目視ということになっております。町長もおっしゃられたように、岩見沢市の大雪の情報が、この冬はテレビ中継されるなど、かなり報道されておりましたが、今年ばかりではなく例年のことですが、月形町の方が雪は多いと言う町民の声はよく聞きます。また、国道275号線で、札幌方面からやってきた時、積雪が当別町から段々増えてきて、ちょうど月形町をピークにして、浦臼町や新十津川町に向かって行くと減っていくというドライバーの声も聞きます。そして、なぜ月形町にはアメダスが無いのかと言う声も聞きます。正確には、アメダスの降雪を計測する積雪深計のことですが、町長もおっしゃられたように空知管内でも豪雪地帯の月形町にとって、自動の積雪深計装置は、農業者や町民、行政にとっても、その間断なき情報による迅速な対処が可能となります。それがアメダスのものとなれば、対外的にも町外的にも雪に関する情報を発することができ、国道の安全通行にも繋がります。アメダスの積雪を測る積雪深計のある場所は、空知管内では、深川市、芦別市、美唄市、岩見沢市、滝川市、夕張市であり、国道275号線沿いには設置されていません。そこで、防災の観点からも、月形町におけるアメダスに付随する自動積雪深計の設置は、町内外にとって有効と考えております。まさに月形町は、この積雪深計を設置するに相応しい場所、状況と言えらると思います。この設置の必要性について町長の考えをお伺いいたします。また、気象庁等の関係機関への要望等について行う考えはあるか、合わせてお聞きします。

○ 議長 金子 廣司 町長。

○ 町長 上坂 隆一 アメダスによる積雪深計の必要性については、私も何度か思っていましたけれど、令和元年度から消防職員の協力により、消防支署前で人員による目視観測を行うにあたっては、議員もご承知のように計器の故障により自動観測から人員による観測に変更し、その費用対効果を勘案すると、運用の方法を見直ししなければならないと判断し、少なくともホームページやIP告知端末機等で雪の状況について知らせているということで、町民の費用対効果も含めて理解されているものと認識しております。

札幌管区気象台や旭川地方気象台の台長と国土交通省の河川関係の災害防災関係の会議等で、毎年お会いしてございまして、アメダスの積雪深計の設置等については、会うたびに歴代の台長等に要請し続けております。しかし、気象庁としては、現在の観測ポイントにおける積雪等のデータで十分に足りているという理由から、月形町に新たに観測ポイントを設置する予定はないという回答の繰り返しであります。残念ながら、現在もその状況は変わっていないと認識しております。そのような意味でも、私としては、要請し続けるけれど、現状の体制で、町民が安心、安全に、除雪等もしっかり行って、この豪雪に耐えていかなければならないと認識しております。町道の除雪等については、前職時にも他の仲間たちが月形町に来た際に、「除雪は非常にきれいだ。素晴らしい。」と褒めていただいております。そのことの認識は今も変わっており

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

ません。そのような意味で、しっかり対応していきたいと思いますので、ご理解をいただきたいと思います。

- 議長 金子 廣司 我妻 耕議員。
- 議員 我妻 耕 町長が言われるように、一般質問で言いますと、自動観測装置を含めると、今回の私を入れて3回目の一般質問なのです。1回目が平成25年ぐらいに、自動観測装置を付けてほしいということに対して、その部分で自動観測装置が付いたという経緯があって、2回目は令和元年で、計器の故障によることについて、自動観測装置は費用対効果を考えると目視で良いという答弁をされたと記憶しております。

今、気象庁関係の資料を見たりすると、やはり、気象の激甚化によってアメダスや衛星による観測を強化しているなど、いろいろと変化があります。町長が言われるように、札幌管区気象台や旭川地方気象台の台長に会った時に言ったというのは、正式な要請なのかどうかということをお聞かせ願えればと思うのですが、今回、2月24日の国道275号線等の通行止めについて、これは、国土交通省からのネット情報だったのですが、通行止め区間の情報に合わせて注意書きがありました。「外出し、万が一、吹雪等に遭遇した場合は、道の駅などのより安全な場所に留まっていただきますようお願いいたします」という一文が書かれていました。何気ない注意書きなのですが、まさに拠点づくりや道の駅に取り組もうとしている月形町にとっては、町民に対する情報の提供はIP告知端末機等で済むかもしれませんが、国道を通行する人たちにとっての気象情報の提供、防災機能を持つ施設整備の一貫として、アメダスに付随する自動積雪深計の設置は必要なことであると重ねて思います。町長の台長への要請が、正式なものであったのか。正式なものでないのなら、もう一度、きちんと要請する気があるのかどうかということについて、お聞かせください。

- 議長 金子 廣司 町長。
- 町長 上坂 隆一 月形町長として責任ある立場で、気象庁の仕事関係の長に要請していることに対して、単なる世間話や思いを伝えているだけではなく、向こうもそのように受け止め、先ほど申し上げたように、現状の気象庁の観測体制や気象庁の役割として十分に果たしているということで、月形町に新たな設置は、今のところ考えていないという回答だったと認識しております。

また、国道等の道路情報ですけれど、北海道開発局の南耕地の除雪ステーションに積雪深計が設置されており、冬期間の積雪深がインターネットで公開されております。北農場の国道監視カメラでは、道路状況の映像が15分ごとにライブ配信されており、そのような情報も防災にいろいろな意味で活用されているものと思っていますし、活用していただきたいと思います。町における雪に関する情報も、ホームページやIP告知端末機で、これからもきめ細かく配信していきたいと考えております。アメダスによる自動積雪深計については、この取組みをご理解していただきたいと思っております。

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

れど、気象庁に対しての要望等については、議員のご意見等も踏まえて、機会を見て要望させていただきたいと考えています。

- 議長 金子 廣司 我妻 耕議員。
- 議員 我妻 耕 今後も要望していただけると言っていたので、是非、その辺のところ、要望し続けてもらいたいと思います。ホームページについても、情報を流していると言いますが、実際のドライバーにとって、ホームページを見るかと言ったら、そうでもないと思います。日頃のニュースや天気予報で知ることができると思った時に、アメダスの公表というのは非常に大きいと思います。いろいろと制限はあると思いますが、今後も取り組んでいただきたいと思います。以上で今の質問は、終わりにします。

それでは、2点目の質問に入らせていただきたいと思います。通告書に基づきまして、旧JR鉄道敷地の跡地活用の手続きについてを質問いたします。この質問に関しましては、松田議員や楠議員の一般質問とも重なっているような部分もありますが、質問させていただきます。

今年4月に月形町より札沼線鉄道跡地活用の基本方針素案が出されました。その中では、活用方針と活用方法が列挙されていました。

住民への譲渡の他に、交通インフラの整備、公営住宅の整備、憩いの場の整備、鉄道レガシーの継承、旧駅舎・ホームの扱いについて書かれており、先日開催された住民説明会でも報告されました。譲渡などについては具体的なものであり、他のものについても、今後住民からの意見聴取などを待って決定することですが、これら素案につきまして、3点の質問になりますが、一つ目、特に譲渡以外の素案で担当部署内でどのような議論があつて基本方針となったのか。二つ目、現在、通告書を出した5月28日現在ですが、募集している住民からの意見の内容や、それについての扱いは今後どのようになるのか。三つ目、その後の素案から実施への流れはどのようになるのか。この3点について伺います。

- 議長 金子 廣司 町長。
- 町長 上坂 隆一 お答えいたします。札沼線鉄道跡地活用の基本方針素案につきましては、本年2月19日の全員協議会で、今後の主要事業についての中で、ご説明させていただき、4月28日に住民説明会を開催させていただきました。先月中に提示しました素案は、皆さんの札沼線の思い等を伺う期間とさせていただいたところがあります。

1点目の住民への譲渡を除く事業の素案作成に関する立案の過程と議論の内容についてですけれど、JR旧石狩月形駅舎周辺等の整備に限定して検討してきておりませんので、主要事務事業での検討を行った経緯も交え、少し長くなりますけれど、ご説明をいたします。

昨年2月に地域拠点施設整備等審議会から答申をいただき、それを受けて、同年5

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

月に庁内の課長職で構成する主要事務事業推進会議、関係管理職で構成する重点プロジェクト事業等推進チームを設置し、主要事業について協議を重ねてまいりました。このプロジェクトでまとめた内容について、11月の総合振興計画と創生総合戦略のヒアリングの中で、私と関係各課局を交えて協議を行い、本年1月の全体事業の理事者協議を経て、2月の推進会議で町の方針として決定をしたところであります。JR札沼線鉄道跡地関連部分については、個別に基本方針素案としてまとめて、2月19日の全員協議会を皮切りに説明してきたところです。昨年5月の推進会議の折に、各課局から主要事務事業を出してもらい、重要事業であっても担当課局で遂行できる事業は除き、町全体に係わる事業に絞って、この推進会議で検討すべき事業としたところあります。基本方針素案に関連しますJR札沼線鉄道跡地関係についての事業は、企画振興課から提示されたJR札沼線鉄道用地等の利活用を中心に、農林建設課から示された町営住宅建て替えの検討であります。更に、住民への譲渡を除く部分としましては、旧石狩月形駅周辺の活用が中心となり、町道の新設や道路拡幅などの交通インフラの整備、散策路を配した憩いの場の整備、駅やホーム、鉄道備品等の鉄道レガシーの継承という3事業は、JR札沼線廃止に起因するものです。町営住宅の整備については、月形町営住宅長寿命化計画を平成28年に改定しておりますが、計画上では、北農場団地の建て替え年次が令和2年であったことから、旧石狩月形駅舎周辺のエリアに、町営住宅を建設してはどうかという庁内議論により加えられたものであります。住宅難の声がある住宅整備に関し、民間住宅の建設改修への支援も含め、町全体での住宅政策の見直しを、担当者に指示をしているところあります。

また、現時点での基本方針素案に関する住民の意見状況についてですが、5月31日までに町内外10名の方々よりご意見をいただいております、旧石狩月形駅舎の活用の他、様々なご意見をお寄せいただいております。

最後に、これらのご意見の取扱いと、今後、素案から原案、そして、事業実施に至るまでのプロセスがどう行われるかについての質問ですけれど、まず、まちづくり推進室で、いただいたご意見を整理させていただき、線路跡地の住民への譲渡を含めた鉄道跡地全体の検討を行い、基本方針原案づくりに取り掛かる予定をしております。基本方針素案は、あくまでも札沼線鉄道跡地活用のたたき台としてお示ししたものでありまして、先月末で住民の方々からの意見集約を終えましたけれど、今後ご意見を承り、鉄道跡地の活用に関して、多くの町民の皆さんの関心が深いものであると認識しておりますので、皆さんのご意見を伺い、丁寧に対応させていただき、各種審議会等に、もちろん議員の皆さんにも諮った上で、慎重に方針を決めていきたいと考えておりますので、ご理解いただきたいと思います。

- 議長 金子 廣司 我妻 耕議員。
- 議員 我妻 耕 どのような議論があったのかという具体的なところを聞きたいと思っていたのですが、推進会議や重点プロジェクト推進チームの中で事業を出し

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

てもらい、その中で絞ったということですね。公営住宅に関しましては、長寿命化計画の中で、令和2年に整備するという予定であったということで、駅の跡地というのは、場所的には抜群な場所ですね。ただ、廃線にならなかつたらどうなのでしょう。あそこに造るわけにはいかなかったですね。

どのような意見があったのかということについてもそうですが、まちづくり推進室で、その意見を検討した上で実施に取り掛かる、それでしっかりと取り組んでいくというお話し等を今お聞きしました。少し長くなりますけれど、今回、一般質問に至ったのが、自分自身の中での懸念と言うか、心配と言うか、それがどんどん醸成されていったということでもあります。

一つ目ですが、まず、今年3月の令和3年度予算特別委員会で、松田委員からの鉄道跡地を利用した賑わいづくりの総括質疑に対しての町長の答弁ですが、トロッコやサイクリングロードなどの利活用は、一時的には良いのかもしれないが、長きに渡ってやっていくことについては、非常に厳しい状況にあり、月形町が鉄道跡地の利活用を率先して積極的に取り組むことについては、消極的な判断をしている。予算面からの部分で、このようにおっしゃったということですが、これは、これから広く意見を求めるというのに、既にある一面でかせを掛けてしまったのではないかと、思いました。

二つ目ですが、その後、いよいよ町民の方々に対して、跡地利用の方法の意見案を募集する告知で、IP告知端末機による告知ですが、その画面の最後の一行に、「頂戴した意見が採用されるわけではありません」の一文です。意見を募るにあたり、普通は使わない、あり得ない一文であると思います。その後、その一文はJR鉄道跡地利活用の意見募集に替わりましたが、そのような一文が書かれていました。このJR鉄道跡地利活用の意見募集というIP告知端末機での最後の一文ですが、これについても、4月の鉄道跡地利活用の住民説明会資料では、跡地活用の基本方針への意見募集という表記になっていました。何を町民に求めているのですか。自由意見なのか。指針への意見なのか。本当に意見や活用方法を求めているのか。もし、求めているとしたら、非常に表記、表現がまずい、つたないと思いました。

旧駅舎の保存・解体として、旧月ヶ岡駅は新しい上に勝手に壊せないということで、待合所の保存をうたっておりますが、旧石狩月形駅の駅舎解体、ホーム解体から始まって、旧札比内駅、旧豊ヶ岡駅、旧知来乙駅は、全員協議会や町民説明会で、その解体を老朽化と安全面を理由に説明されました。これについても、いつ、どのように決まったのですか。どのような経緯で、それが素案となったのか、知りたいです。私たちには、見えなくても、本当に価値はないのですか。樺戸集治監の本館を保存し、博物館として開放している町の職員の中に、そのような意見はなかったのですか。今年3月の予算特別委員会の中での楠委員の話ですが、ごみ拾いと揶揄されながらも集治監の遺産を集めて、今の博物館の礎を造った熊谷さんの話がありました。先ほど、松

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

田議員から、まちづくり推進室の話がありました。まちづくり推進室は設置されました。先日、全員協議会の中で、その中身についての説明がありました。しかし、その業務分担の中に、鉄道用地の譲渡や旧石狩月形駅周辺の町道整備、公園整備を分担する部署の表記はありましたが、残る鉄道跡地の利用について、どこが分担するかの表記はありませんでした。私が質問し確認すると、地域振興係の分担という答えでした。しかし、表記がないことは、あまり重要度、優先度は高くないのではないかと考えてしまいます。これらのことがあって、疑心暗鬼と言いますか、どんどん不安が募っていきました。全員協議会での議員への説明という言葉が、町長の中でもいろいろ出てきました。私たちも説明を受けています。でも、全員協議会での議員への説明が、いつの間にか議員の承認ということに繋がって、町民の方々へ素案が独り歩きしていることもありました。私たちは、全員協議会のその日の会議前に資料をもらい、十分に精査、質問できませんので、このような一般質問で改めて確認させてもらうということです。けして、決定や承認の場所ではないと思います。鉄道跡地の利用の青写真は既に決まっているのですか。譲渡、駅を取り壊す、町道を通し、町営団地を造る、本当にそれだけで良いのか。将来に後悔を残さないのか。私たち議員は判断し、町民の方々へ説明するにあたっての材料、納得するものが必要なのです。町が出された素案が悪いというわけではありません。鉄道跡地の活用の進む方向の選択には、私たち議員も決断しなければなりません。議員それぞれが町民の方々の意見を聞き、町の説明を聞き、判断し、結果を町民の皆さんへ説明もしなければなりません。長くなってしまいました。すみません。

この後、町から議会に、町民の方々に素案から実施案を提示するにあたり、協議での葛藤から決定のプロセスまでを提示、更に、さらけ出すことで町民の理解が得られるものと考えています。それが、今、素案の段階で不足しているものと考えております。それについて、町長の考えをお伺いいたします。

○ 議長 金子 廣司 町長。

○ 町長 上坂 隆一 議員から縷々私の不足するもの、いたらない部分についてのご指摘をたくさんいただきました。そのことについて、真摯に受け止め、今後取り進めるにあたって、しっかりとやっていきたいと思っております。ただ、私の認識としては、昨年4月17日に急遽ラストランとなり、廃線になって以降、それまでの間についても、新十津川町のような鉄道跡地問題の議論や意見等の場を積極的に進めてこなかった面もありますけれど、農地の譲渡、赤川団地周辺の皆さんの通路等の話、そして、町外の人たちが主体となつてのトロッコの話は縷々ありましたけれど、それ以外、町民一人ひとりからの具体的な声があまりなかったものですから、鉄道跡地の利活用については、積極的に検討してこなかった一面があることについては、今、議員からのご指摘も含めて受け止めたいと思っております。ただ、素案ありきで、皆さんに公開していないけれど、私の方で方向性や青写真ができていないということではないということ

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

で、あくまでもたたき台として、庁内の議論等の一部から、このようなことが考えられるということをお示しさせていただいたということで、ご理解いただきたいと思えます。この短い時間で、何が何でも跡地問題について結論を出さなければならないとは思っておりませんし、来年4月以降でなければ正式にJRからの跡地譲渡にはなりませんので、議員がおっしゃるように町民の皆さんのご意見をしっかり聞け、そして、議会にも意見を聞けということについては、そのようにしっかりやりたいと思えます。先ほど、松田議員にも言いましたけれど、町長が、行政が責任を持って案を示して、議会の議決、予算を経て実行することは必要であると思えますけれど、町民一人ひとりの主体的なまちづくりへの参加、一緒になって参加をすることについては、やや欠けていたのではないかという思いもあります。幸いにして、町内で月形刑務所の刑務官が中心となって議論の場という取り組みも始まっています。そのようなことも含めて、まちづくりに20年後、30年後、あの決断、建設や解体したことは、間違っていなかったというように、全町民が同じ思いになれるように取り組んでいくことをお約束させていただきます。

○ 議長 金子 廣司 我妻 耕議員。

○ 議員 我妻 耕 最後の決断は、リーダーシップを持って、やはり町長がしっかり、このような方向で進むというようになると思えます。でも、その前の段階で言いたかったことを言っているわけで、このような議論や葛藤があったから、このような結論になったということが、議員も含めて町民の方々に大きな声で言えるような提示の仕方をしていただきたいということをお話ししました。

今のお話しの中で、町民の方に意見がないというお話がありましたが、私は、鉄道跡地をトロッコによる利活用を考えている町外の有志の団体の話し合いに出るようになりまして、その団体の方と知り合うことができました。いろいろな計画を自分たちで立てて、町おこしにトロッコが使えないかということで、その方たちは鉄道が好きなのです。はじめは、なぜこんなものが好きなのかと聞いていたのですが、本当に好きだということが純粋に分かりました。その方たちと知り合うに当たって、私は、「路線が横切っている農家の方の意見は聞いた方が良いですよ。これは必ず聞いた方が良いですよ。」と言いました。それは、既に線路を撤去して農地にしてほしいと言われている方も含め、全ての方に会うべきであるということでした。はじめは、そこで冗談じゃないと反対や罵倒されて、それが、諦めるきっかけになるのかなという思いも少しはあったのですが、たまたま札比内からトロッコ沢、北農場と、私が農家の方にアポイントを取って、それぞれ会いました。皆さん、快く会ってくれました。もちろん、正式な会議の場で、農地のこと、線路を早くどうにかしてくれとおっしゃっている方もいました。怖かったですね。何を言われるのだろうと思いましたが、アポを取って会いに行ったら、皆さんきちんと話を聞いてくれて、自分たちの思いも言ってくれました。そして、公式には大きな声で線路撤去や農地にしたいという方も、

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

逆に鉄道を使ったまちづくりの意見を言ってもくれたのです。本意ではないけれど、そのような方法もあるというようなことでした。意見の集約というのは、全体の中で集約しようとする、どうしても意見の強い人、その流れの中でしか意見を言えませんが、個々に当たるといことは、それぞれの思いを聞くこともできるということがはっきり分かりました。もう、参りました。地元や町内の方もいろいろ考えているのですね。それが初めて、改めて分かったと言うか、もう、感動すらしました。トロッコの方たちも、私が見えない鉄道の価値についていろいろ教えてくれましたし、皆さんそれぞれがどのようにしたいかという意見は持っていると思います。

最後の質問になりますが、日頃から町民の方々の意見の大切さに言及され、尊重される町長と共感できると思うのですが、もっと丁寧な意見集約も、鉄道跡地ばかりでなく拠点化づくりも含めて、これからは必要と考えますが、これについてのお考えはいかがでしょうか。

- 議長 金子 廣司 町長。
- 町長 上坂 隆一 これまでも町民の声を付け合わせて、いろいろ聞いてきておりますし、そのような姿勢できています。今後とも、それは変わりませんので、先ほども言いましたように鉄道跡地がどうなるかという町民も含めて、関心の深いところであると思いますので、利活用についてしっかり組み立てていきたいと思っております。先ほども言いましたように、町民一人ひとりが、もっと主体的にまちづくりの主役となってもらいたい。私が町長になってから小学校に出前町長室へ行き、この間も月形高校で講話をさせていただき、中学生に対してのまちづくりへの、社会福祉協議会が中心となる話し合いの場等にも出て、子どもたちの意見を聞き、真剣に月形町を愛し、月形町が大好きだという子どもたちのためにも、しっかりやっていくことをお約束したいと思っております。
- 議長 金子 廣司 我妻 耕議員。
- 議員 我妻 耕 私の上坂町長のイメージですが、とても話しやすいというイメージを持っていますし、町民の方々も多くは気さくに話せると評価をされていると思います。それが、町長の一つの魅力であると思います。町民が主役にとのお話しもされましたが、主役になるにはプロデュースが必要です。そのために行政がどのように働きかけていくのか、意見を引き出していくのか。それについて、丁寧な扱いをしていただきたいと思います。私たち議員の方でもいろいろ注意を払って、これからも一緒に決めていきたいと思っております。以上で質問を終わります。

- 議長 金子 廣司 暫時休憩いたします。 (午前11時17分休憩)
- 議長 金子 廣司 休憩前に引き続き会議を再開します。 (午後 1時30分再開)

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

- 議長 金子 廣司 順番3番 東出善幸議員、発言願います。
- 議員 東出 善幸 通告に基づき、質問をさせていただきます。まず、1点目ですが、飲食店に対する新型コロナウイルス感染対策認証制度の実施についてであります。新型コロナウイルス感染症は、未だ収束が見えない中、北海道においても再度の緊急事態宣言の発出により、外出自粛が要請されております。このような中、未だ全国的に飲食店等は大変厳しい状況であり、本町においても、商工会からの聞き取りでは、同じく大変厳しい状況であります。現在、町内飲食店では時短営業やアルコール提供時間の制限を行っております。町から中小企業者等感染予防対策支援金として、感染防止のための経費に20万円限度で支援が行われ、各飲食店では新北海道スタイルで感染対策を行っている聞いております。今後、外出自粛が解除されると思われませんが、以前のように人流が戻るか懸念される所でございます。飲食店を訪れる人が安全安心に、そして飲食店の方々も安心できるよう、町として更に感染対策を支援し、認証ステッカー等を交付する考えはないか、お伺いをいたします。
- 議長 金子 廣司 町長。
- 町長 上坂 隆一 お答えします。私も飲食店認証制度を紹介した情報番組を見ました。県の職員が認証を受けようとする飲食店に出向き、かなり厳しい基準をチェックし、その基準をクリアしなければ認証ステッカーを貰えないといった内容で、その県の取組みにより新型コロナウイルス感染者をかなり抑えられているものと記憶しております。そのような認証制度を本町においても導入してはどうかというご質問であります。この制度につきましては、内閣府、厚生労働省、農林水産省の連名により、本年4月30日付けで「飲食店における感染防止対策を徹底するための第三者認証制度の導入について」という事務連絡が各都道府県知事に発せられたところです。この事務連絡の主な内容としては、政府は関係団体や地方公共団体に対して、第三者認証による認証制度の普及を促すこと、都道府県は飲食店の見回りを進めるとともに、第三者認証制度へのインセンティブ措置の付与により、同制度の確実な運用を図ることとされております。また、別添として感染対策に係る認証基準案をベースに、都道府県がどのような基準項目とするかについて、各地域の公衆衛生等の専門家の意見を聞いた上で作成すること等が示されているところです。この事務連絡が発せられる前に、県や市が独自で取り組んでいる所があり、これがテレビ番組で取り上げられたものと思われ。国の事務連絡の通知後は、この事務連絡の基準案に沿った形で、県単位で認証制度を導入する動きが出始めているようです。この認証制度を先駆的に取り組んだのが山梨県でありまして、県が第三者として認証するもので、山梨モデルと言われています。東京都のように事業者のインセンティブ措置の付与で認証制度を与えられている所もあります。市区町村では、独自事業として静岡県浜松市が実施しており、他には都の制度を拡充させた形で千代田区が実施している、ごくわずかの取組みとなっていると承知しております。北海道では認証制度を導入しておらず、道内市町

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

村で独自に制度化している所はないと確認しております。全国的には、まだ普及されていない状況ですので、本町としては、今のところ独自の認証制度の導入は考えておりません。

昨年度、飲食店への新型コロナウイルス感染症関係の支援は、事業者への直接支援として6事業を行い、延べ51事業所へ1,100万円の補助をしました。この事業の中には、感染予防対策に特化した事業もあります。その他に緊急経済対策としてのプレミアム商品券事業をはじめとする3事業2,000万円を超える間接的な商工業振興もしており、充分とは言えないかもしれませんが、商工業の皆さんからは、感染対策支援や商工業振興に一定程度の評価をいただいているものと考えております。

認証制度は、制度として優れているものであると認識しておりますが、月形町単独での感染対策の効果や北海道が導入しない中で、町独自にインセンティブ措置の付与を考慮すると、慎重な対応が求められると思われます。月形商工会からも飲食業への支援は、引き続き必要との要望を受けておりまして、明日の補正予算で、営業時間短縮等への支援を提案させていただいております。引き続き、飲食業をはじめとする商工業への新型コロナウイルス感染対策を取っていきたいと考えておりますので、ご理解いただきたいと思ひます。

- 議長 金子 廣司 東出善幸議員。
- 議員 東出 善幸 町長は、なかなか慎重になっているということで、今の段階では考えられていないという答弁をいただいたのですが、確かにアクリル板等を設置するとなれば、町内の飲食店であればスペース的なこと、それらの消毒等の手間が掛かると思ひます。今、町長が言われた有名なモデルが山梨モデルとして、第三者が認証してやっていることを私もネットで調べることができました。現在、町内の飲食店は9店舗ございます。統一した感染対策によりまして、私はメリットとして、安心して飲食できる店舗として広報やIP告知端末機、チラシ等でPRができるのではないかと思ひます。これによって町民や町外の方が飲食店を訪れる時に、ここは感染対策をしっかりとっている、町のお墨付きとなれば、入って行き易くなるのではないかと思ひます。町長は、今、考えられていないということですが、私が言ったことを踏まえて、再度、月形モデルとして、今後考えていけないかどうか、お伺ひします。
- 議長 金子 廣司 町長。
- 町長 上坂 隆一 今月20日までは緊急事態措置ということで、変わらない状況もありますので、その辺については、今回、議員からお話しいただいたことを踏まえながら、商工会、各事業者の皆さんと相談しながら進めていきたいと思ひます。
- 議長 金子 廣司 東出善幸議員。
- 議員 東出 善幸 町長、ありがとうございます。そのような形で各飲食店、商工会にお話しを持っていただければ、もしも、そのような方向性になった時に、是非、予算的な部分の更なる支援、できれば統一的な感染対策とい

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

うことでお願いしたいと思います。これで、1点目の質問は終わらせていただきます。

次に、新型コロナウイルスワクチン接種についてでございます。いよいよ国内で新型コロナウイルスワクチン接種が始まりました。本町においても、接種の体制が整い、スケジュールも決まりました。5月25日の北海道新聞空知版に空知管内24市町の高齢者接種の状況が載っておりました。20市町は5月開始、3市町は6月初旬開始、本町は6月22日開始となっておりますが、この時期の開始理由をお伺いします。

○ 議長 金子 廣司 町長。

○ 町長 上坂 隆一 お答えいたします。2月下旬に、4月末までに全ての市町村にワクチンを1箱配付するという通知がありました。これは前にもお話ししたと思えますけれど、その後のワクチンの入荷が不透明であり、65歳以上の高齢者全てに接種するには全く足りない量であったことから、月形町では高齢者がたくさん生活しておられる福祉施設が複数ありますので、そこでのクラスター発生を防ぐことが喫緊の課題であると考え、まず、福祉施設入所者の皆さんへ接種を開始することとしました。現在、福祉施設での接種は順調に進んでおり、6月4日まで町民以外の方も含みますが、335人に接種を行いました。現在、各施設の2回目の接種も始まっているところであります。新聞に掲載された一般高齢者の接種は、6月21日から開始となりますが、遅いように感じるかもしれませんが、今、申し述べたように町内にはクラスター発生の恐れのある高齢者施設や障がい者福祉施設があるという中で、確実に接種を進めておりますので、このような事情をご理解いただき、今後の接種の推進にご協力をよろしくお願いしたいと思います。

○ 議長 金子 廣司 東出善幸議員。

○ 議員 東出 善幸 おそらく、ワクチンは全道に入ってきているから、新聞にもこのような形で、いろいろな市町の状況が載っていると思います。最近の動向として、感染力の高い変異株も出てきております。町内や隣町でも感染者が出ておまして、いつ自分に感染してしまうのか、大変恐ろしく感じているところであります。町長は長らく福祉関係に携わってきておまして、町長として町民の命を守る責任があると思います。高齢者の接種希望の割合は、マスコミ報道で全国では約75%、本町はIP告知端末機での情報になりますが、約95%となっております。これについて、町長はどう思うのか、お伺いしたい。また、今回の接種開始日が、この時期になったということは、医療スタッフの調整も難しかったということもあるのでしょうか、お伺いします。

○ 議長 金子 廣司 町長。

○ 町長 上坂 隆一 まず、最初に月形町の高齢者の方たちが、全国平均よりも多くワクチン接種を希望されていたことについては、町内の感染防止のためには良いことであると思っております。

お陰様でワクチン接種に係るスタッフ体制も、ワクチン接種推進室を中心に、保健

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

福祉課以外の課にも応援していただいて、接種促進のための体制づくりが整っております。来週15日には、福祉施設の接種会場を見学する予定をしております。

先ほど申しましたように、順調に進んでおりまして、私に届いている声では、先着順やインターネットで申し込みしなければ接種できないということではなくて、各地区ごとに接種日が設定され、非常に分かりやすく、インターネットの難しい操作や誰かに手伝ってもらうことがなくても、安心して自分の接種日を待っているという声が多数寄せられています。そのような意味では、小さな町だから顔が見えて、それぞれしっかりできるということは、今のところ順調に接種日程どおりに進めていけると確信しております。

- 議長 金子 廣司 東出善幸議員。
- 議員 東出 善幸 今、町長は順調にとおっしゃっていますが、私も順調であることは大変良いと思っています。私の耳に入っているのは、先ほど言った5月25日付けの北海道新聞の記事にあった空知管内で一番遅い6月22日の接種日を見て、「月形町はどうしてこんなに遅いの。隣町では既に2回の接種も終わっているよ。」と言う声です。最近、テレビ等の報道では、64歳以下についても6月中から接種を始める所もあるということで、町民の方々はそのような報道等を見ている方がいると思うのです。北海道は死亡率が多いです。特に2桁になっています。これも新聞に載っていたことですが、北海道のPCR検査の陽性率が5.7%となっております。単純に行かないと思いますけれど、本町全員を検査した場合、約20人が感染しているということも考えられるわけです。開始日が遅いほど、当然リスクも高まります。お年寄りの方々も、遅い方もいれば、中にはもう2週間で始まるという方もいますし、まだ2週間もあるという方もいると思います。これだけ新聞やマスコミ等で感染リスクを出されると、一日でも早く接種したいというのが、本当の気持ちではないかと思えます。

先ほど、質問した医療スタッフの部分は問題ないということでありましたので、これから65歳以上、64歳以下と10月まで接種が続くわけですが、前倒しをして接種に持っていく考えはありませんか。

- 議長 金子 廣司 町長。
- 町長 上坂 隆一 いろいろな意見があり、1日も早く接種したいという思いの方もいるということについては、承知しておりますけれど、会場の問題等も含めて、現在の計画でご理解いただき、進めていきたいと思っております。今日のお昼のニュースで、知事が新たに北海道のホテルを会場として、近隣市町村の高齢者等の接種を進めるというような状況も報道されておりました。美唄医師会に協力や支援のお願い等の調整をした経過もありますので、その辺の状況も把握しながら、検討できる部分については、検討していきたいと考えております。今の予定を早めて何が何でもやるところまでの決断は決め兼ねています。

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

- 議長 金子 廣司 東出善幸議員。
- 議員 東出 善幸 町長の言われていることは、充分に分かるのですけれど、一般町民の16歳から64歳までのワクチン接種が、10月22日に接種が終わるということで予定されています。まだ4カ月も待たなければ2回の接種が終わらないということで、ワクチンの効能も1回目より2回目を接種して、ある程度の抗体ができると言われていています。もし、考えられるのであれば、美唄医師会とも相談されたら医師の部分では言われていますし、その他にも医師の都合が難しいということになれば、例えば町立病院の安友院長、出張医師の病院との連携、岩見沢医師会、国保連合会等、いろいろと相談できる所があると思います。看護師についても、町内外に潜在看護婦はおります。そのような方々を活用して、接種場所も保健センターだけでなく、例えば、多目的研修センターや交流センター等、町内の2カ所の会場でやっても良いと思うのです。変異株がもっと変異してきて、追いつかなくなる可能性もあると思います。先ほども言いましたけれど、安心安全のためにも、町長は町民の命を守る責任があるわけですから、確かに職員は大変であると思いますが、前倒しでやっていくように町長が決断されて良いのではないかと思いますけれど、いかがでしょうか。
- 議長 金子 廣司 町長。
- 町長 上坂 隆一 議員のおっしゃる部分については、分かる面もありますけれど、今、ワクチン接種推進室長を中心に、計画的に手一杯の中で進めておりますので、21日から始まる状況の中で、急に接種ができなくなった等のキャンセル時の対応等も含めながら、町民の安全安心、命を守ることの中では、できるだけ早く進められないかということの中で、しっかりと検討していきたいと思います。
- 議長 金子 廣司 東出善幸議員。
- 議員 東出 善幸 今、検討されていかれるということですが、検討ということは、前倒しについて充分に考えられると判断してよろしいでしょうか。
- 議長 金子 廣司 町長。
- 町長 上坂 隆一 最終的に全町民へのワクチンの入荷日がどうなるかということも、まだ明確ではないので、そのようなことも含めて、医師等の関係も含めて検討させていただきます。

- 議長 金子 廣司 暫時休憩いたします。 (午後 1時55分休憩)
- 議長 金子 廣司 休憩前に引き続き会議を再開します。 (午後 1時56分再開)

- 議長 金子 廣司 東出善幸議員。
- 議員 東出 善幸 今、前向きに検討していただけるということですので、いろいろと調整して、このような時期ですから医師や看護師の確保が大変難しいという気も

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

します。町民の命を守るためにということであれば、その辺の努力はしていただきたいと思います。終わります。

- 議長 金子 廣司 暫時休憩いたします。 (午後 1時59分休憩)
- 議長 金子 廣司 休憩前に引き続き会議を再開します。 (午後 2時05分再開)

- 議長 金子 廣司 順番4番 楠 順一議員、発言願います。
- 議員 楠 順一 それでは、通告に基づきまして、質問させていただきますが、はじめに私の質問に入る前に、午前中に2人の議員から同様の重なる部分の質問がありまして、そのやり取りを聞いておりました、感じたことがあります。それは町長の答弁の中に、何回か町民の参加に欠けている、あるいは、例えば、まちづくり推進室へ町民に出入りしてもらって、そこで「かんかんがくがく」やりながらまちの将来を考えてはどうか、という発言が随所にありました。私もそれは感じておりますし、理想であると思うのですが、町長の口からそのような言葉を発するのはいかなものかなと感じたわけです。役場内にもそのような感じておられる方もいるかもしれません。定期的に定額の給料をいただいて、町政に専念する立場の人と、自ら生業を稼いで、今の厳しい経済情勢の中、日々生活している人たちと、そのような意味では、我々議員もそれぞれ仕事を持ちながら議員活動をしているわけですから、半分は同じ立場であります。その立場の決定的な違いというものをどのように考えておられるのか。非常に残念でした。民間の飯を食って、民間の苦しさも知っておられる町長が、確かに町民がいろいろな意見を出して、自らまちづくりに参加して、自分の時間を削って、いろいろな活動をしてくれれば、それが理想的なまちづくりの姿ですけど、今、現状を見てどうですか。それだけ思いを持って、あるいは余裕を持って活動できる町民がどれだけいますか。だからこそ、皆さんに良いまちづくりをしてほしいということをみんな願っているのです。役場職員に頑張ってもらいたい、町長にはそのリーダーシップを取ってほしいということで、一票を上坂隆一氏に投じているのです。我々議員もそうです。私は、それを忘れていたのではないかと感じてしまいました。私の誤解であれば良いですけど、その辺のことに関する思い、答弁の中で、もし、触れていただければ、触れていただきたい。お互い言いづらい、聞きづらい話になりますけれど、今、議会の中では、今の町政の在り方はどうなのかという声も出てきております。ですから、前段で2人の議員、東出議員もそうですけれど、そのようなことに対する思いもあり、今回の一般質問が、今までと空気が違うと感じておられるかもしれません。私も、そのような意味で、2つのテーマについて質問させていただきます。

重ねて申しますが、先ほどの町民の参加に対する町長の認識について、答弁が

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

ありましたら、是非、答弁の中で触れていただきたいと思います。

では、通告書を読み上げさせていただきます。まちづくりの全体像と優先順位についてということですが、本町におけるまちづくりの中長期的なビジョンは、「総合振興計画」「地方創生総合戦略」という形で策定されてきましたが、「総合」という名のとおり総花的、網羅的であり、町民にもわかりやすい骨格的なランドデザインではなかったのではないかと。これは、計画や戦略が悪いと言っているのではなく、このようなものは行政の指針として必要であると思うのですが、これを町民に全部読んでもらうという話は無理があると思います。そこまで関心を持って精読してくれる町民がいれば良いですけど、現実問題、そこまでやってくれる町民がどれだけいるのか疑問です。町民に具体的、分かりやすい形で理解をお願いすることが必要になってくるだろうということでございます。今の状況を考えてみますと、通告書に書いてありますが、現在、JR札沼線の廃止によって、まちの基本構造そのものの転換が迫られております。午前中の松田議員も触れられているとおりです。それに加えて、拠点施設の整備と皆楽公園内施設の改修・改築、そして積年の課題でありました道の駅の設置、いずれもこの先、20年から30年先を見据えたまちづくりの帰趨を決する重大な課題が、私たちの前に現われております。

この際、個別の課題に着手する前に、先ほど言った上坂町政の首長として将来に向けたまちづくりの全体像、町民が、これなら月形町の未来は明るいと思われるような全体像と、何をどういう順番で取り組んでいくのかという優先順位を示すべきではないかということで、伺いたいと思います。

私は今、これには本当に大きな期待を抱いております。前にもお話ししたことがあると思いますが、振り返ってみますと、議員になる前に合併問題がありまして、議員になってからは、まちづくりの前向きな議論ができる環境がなかなかできてこなかった中で、本当に私自身も、この町どうなるのだろうという不安を大きく抱いておりました。そのような中で、JR廃線の問題が持ち上がって、コロナ禍が押し寄せてきて、ある意味、混乱と言いますか、うちの町がこれからどのようにしていくのだということがある中で、上坂町長がその舵取りをしてきていただいて、今日に至っているということです。そして、先ほど申し上げた積年の課題に、ようやく着手できる段階になってきているわけです。これは、上坂町長の大きな手腕であったと評価しておりますし、応援したいと思っております。そして、先ほどの松田議員の質問にもあったまちづくり推進室については、私も先ほどの質問にもあったとおり、こういう手法でまちづくりの課題、いろいろな部署に渡るものを、トータル的に推進していく手法が必要ではないかということをお願いしております。これにも取り組むということで、本当にうちの町として大きく進んできたこと、前向きに評価させていただいております。しかし、町民の声を聞いても、今の議会の中のいろいろな議員のやり取りの中でも、町長の顔が見えない、町長はどこに僕らを導こうとしているのか分からない、という

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

ことです。これからいくつかの課題に着手しなければならない問題が見えてきて、それは絞られてきているのですから、何をやらなければならないかということは、分かってはきているけれど、町の方向性として、どのように進んでいくのか今一見えないという声が強いです。私自身もそのようなところがあります。ですから、それは、今、まちづくり推進室で一生懸命やって、4月からまだ3カ月も経ってなく、今、その途中であると思います。今の段階で成果を求めるのは酷であると思いますけれど、物事の流れとしては、町長がビジョンを示して、このような方向、順番で検討というような指示を出して、事務方はそれを具体的に施策として練り上げていく。一方で、町長というのは政治家ですから、町民はまちづくり推進室に1票を投じているわけでもないし、これから質問しようと思いますけれど、コンサルに1票を投じているわけでもない、上坂隆一氏に1票を投じているわけですから、私たちが支持した上坂隆一氏が、どのようなビジョンでどのような方向に行こうとしているのかを知りたいわけです。その上で、このようなことで進んでもらうということになるわけですから、町長は行政のある意味では経営者、舵取り役ではありますけれど、政治家ですから町民の理解を得られるような発信もしなければならぬ立場であると思うのです。そのような意味で、これからうちの町が進もうとしている方向を町民に明確に示す必要があるのではないかということで、まず、お伺いしたいと思います。

○ 議長 金子 廣司 町長。

○ 町長 上坂 隆一 町民が主役のまちづくり、町民が主人公であるということ、まちづくりについて、町民一人ひとりに参画してほしいと言ったことは、議員は、一部、理想であるけれど、毎日の生活、そして、お金をもらってまちづくりをやるのが役場職員ではないかと、だから、役場職員がしっかりやれば良いということについて、多少、精神論かもしれませんが、私は、平成13年6月1日、月形町に縁があって来て、直ぐに合併問題等で月形の町が揺れ動いていた時期で、一面では雪の聖母園の障がいのある人たちのことが、どこでも語られていないということに少しショックはありましたけれど、月形町民一人ひとりの動きから、月形町が大好きになりました。最初は、つきがた未来を考える会の動きについて、一時は少し疑問もありましたけれど、とても良い名前でもあり、素晴らしいことであると、町民あげて月形町の未来を考えようということで、各団体の代表や行政が、記憶では議員の代表もこの会の一員だったような気もしています。そして、福祉センターが老朽し、交流センターを造るといったことについても、福祉関係、新しい共生ということで参画させていただき、子どもからお年寄り、障がいのある人もということで、国からの補助を受けることができ、議員は、今回の集出荷施設の話の時にも、国の補助によって地元の負担が少なくてということで、そのようなことを皆で話し合い、学童保育も含めて出来上がったという経験の下、20年後、30年後に向けて、どのようなまちづくりをしていくのか、誰もが安心して豊かに暮らせる共生のまち、これは、障がいのある人、ない人だ

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

けが共に生きるのではなくて、農業、商業など、いろいろな人たちが共に支え合って、そのことがまちづくりの原点でもあり、どんな人でも誰かの支え、助けてもらわなければならない中で、月形のまちづくりをやっていきたいということにあります。必ずしも会議に出なければ参画していないとか、何かの団体に所属して行動しなければ、仕事ばかりやっている人は、まちづくりに参加していないということではなくて、そのような意味で、町民みんなが一つになって、JR札沼線廃線も含めてしっかりと受け止めて、20年後、30年後に良かったというまちづくりを進めていこうということで、町民から支持をもらって2期目がスタートできたと思っております。議員が代表をされているNPO法人やコミュニティーワーク研究実践センターといったものも月形町に拠点を置いて活動しており、今や、コミュニティーワーク研究実践センターの月形事業所であるわくわーくは、空知管内全域の生活困窮者の相談や就職等、素晴らしい取り組みをされているということで、月形町にそのような組織があることをとても嬉しく思っております。

議員の質問では、「総合振興計画」「地方創生総合戦略」の総花的という指摘をいただいておりますけれど、議員からは令和2年第1回定例会で、アクションプランの提示や総合振興計画のまちづくりアンケート結果を活用した政策課題の絞り込みという提案もいただいておりますが、そのことに充分対応できて、町民や議会の皆さんに上坂町政として示していないということが、今回の一般質問であるということですが、地域拠点施設整備と町民保養センター等の大きな改修事業、これに関連する道の駅の整備の全体像と優先順位を事業着手前に明確にすべきではないかということについては、今日、この場で、第3回定例会会期中の9月を目途に地域拠点施設整備、保養センター等の改修、道の駅の整備、それぞれの方針をお示ししたいと考えていることを、まず述べさせていただきます。この4月に発足したまちづくり推進室を中心に推進室の職員が一丸となって、何としてもこの大きな課題について、しっかりとした方針を作り上げ、町民の皆さんにお示ししたい、議会の皆さんにもお諮りしたいと考えています。事業の優先順位についてですけれど、今後のまちづくりを進めていく上での重要性という捉えで述べさせていただきますけれど、まちづくり推進室で取り上げている事業は、本町のまちづくりにとって、どれも大きな位置を占めておりますが、1期目立候補する時、駅前に月形町の賑わいの拠点を作りたいと立候補した当時は、まさか当選して1カ月後にJR札沼線廃線の問題や4町との話し合いの中で苦渋の決断をするということは考えていませんでしたから、駅前の賑わい拠点整備をしたいと言ってきました。JR札沼線廃線に伴って、駅前という言葉は無くなりますけれど、ステーションというのは、色々な形での拠り所、起点、終着点といったもので、そのようなものが無ければ、真の良いまちづくりではないと思っております。そのような意味でも、地域拠点施設整備は、今後20年先、30年先を真に占う事業というように確信しておりますので、交通、商業を支える場として、また、町に暮らすお年寄り

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

から親子までが気軽に立ち寄ることのできる町民のくつろぎの場として、地の利を活かした町外の人たちも取り込むことのできる交流の場として、拠点づくりは町の最重要事業であると考えています。それぞれ関連する主要事業の集大成事業であると認識しておりますので、強い決意で臨みます。必ずや、そのようなことが叶えられる拠点としての施設整備等の方針をしっかりとお示しをして、皆さんと議論をして取り進めていきたい。そのような意味では、先ほど議員から一部、考え方がしぼんだのではないかと、町民や議会の皆さんの期待に充分に応えていない面があるのご指摘を受けましたけれど、改めて、そのことをしっかりと受け止め、まちづくり推進室を中心に全庁を挙げて、新たなまちづくりに挑戦していきたいと思っておりますので、ご理解、ご支援をいただきたいと思っております。コロナ禍ということもあって、議会の皆さんとの議論のやり取り、事前のやり取りが充分にできなくなっているということでは、先ほど、議員は顔が見えなくなっている、どこにいるのか、役場周辺の草取りばかりして、下ばかり向いているのではないかとのご指摘であると思っておりますけれど、しっかりとやっていきたいと思っておりますので、ご理解、ご支援をお願いします。

○ 議長 金子 廣司 楠 順一議員。

○ 議員 楠 順一 今の答弁で、全体像に関しては9月に示すということですが、なぜ9月なのかということも疑問ですが、勘繰れば9月は予算編成も着手する時期であるし、半年終えて、ある程度方向性が定まっていなければならない時期に提示されることになれば、それから軌道修正が利くのか、あるいは、議論の余地があるのかということ、なぜ9月なのかということを知りたいです。今回、コンサルに皆楽公園の基本計画構想について委託していると聞いておりますけれど、具体的な内容をペーパーではいただいている、いろいろな事がたくさん書いてあって、こんなことができるのだろうかという印象を受けたのですが、ある程度の中間報告が出てくる時期を見据えた上での9月ということなのか、という勘繰りもあるわけです。ですから、その辺、コンサルとのやり取りがどのようにされているのか。また、コンサルに町長の意向はどのように伝えられているのか。基本的なビジョン、構想を基にコンサルは専門的な知見を活かして計画してくると思うのですが、その辺の内容がどのようになっているのか。それと、なぜ9月なのかということについて、お伺いしたいと思います。

○ 議長 金子 廣司 町長。

○ 町長 上坂 隆一 9月にということではなくて、9月までにまとめたいと考えております。先ほど、最後に言いましたけれど、1期目の最初の頃と比べると、今は議会の皆さんとの中間のやり取りの機会が少なく、先ほど、我妻議員からも途中経過がなかなか見えてこないということも言われ、楠議員からも9月ということで、いろいろな勘繰りをせざるを得ないということでありましたが、そのような関係にあるということであると思っております。JR跡地問題も含めて、全員協議会でもお話しをしたと思

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

いますけれど、まちづくり推進室の動きについては、役場のそれぞれの課全てに開かれていなければならない、また、小学生、中学生、高校生を含めて、まちづくり推進室でのいろいろな動きについては、開かれていなければならないと室長以下に訓示をしています。そのような意味で、逐一ということではなくて、必要な状況等について、皆さんとしっかりお話ししながら進めていき、少なくとも先ほど議員が言ったように、次年度予算や執行方針等に進んでいく前には示していけないと駄目であるという意味で、9月を目標というようにお話しさせていただいたことをご理解いただきたいと思えます。

コンサルとは、現段階での私の具体的な思い等の話はしておりません。しかし、4年間、町長をやってきて、信頼する役場職員の先頭に立って、共にやっていきたい、役場職員一人ひとりの企画力や思いを自ら勉強し、チームで勉強して、しっかりやってもらいたいと思っておりますので、私が直接コンサルとお話しをしてということは、しておりませんし、その必要性は今のところ感じておりません。

- 議長 金子 廣司 楠 順一議員。
- 議員 楠 順一 正直、それで大丈夫なのかという気がします。一つは、まちづくり推進室は小学生、中学生、高校生の声も聞いて、開かれていなければならないと、確かにそれは、絵としてはすごく美しいと思えますけれど、まちづくり推進室がそれで仕事ができるのですか。どこかに閉じこもってやれと言っているわけではない。そこに町長が一つの仕切りを入れて、方向性を示してやらないと、実際、課長以下、優秀なスタッフを集めたりしても、それで一つの成果、形のあるビジョンを作れるのですか。コンサルにしても、確かに専門的な知見はあるけれど、発注者である月形町が何を求めて、どこにどのような機能を盛り込んでほしいのか、また、まちづくりの全体像の方向性というのは、どこに向かっているのかということを示してもらわないで、いくら専門的な知見があると言っても、それを一つの基本計画までまとめられるのですか。その部分が、今の答弁では見えないので、もう少し具体的に聞きたいのです。しっかりやろうとか、町をという精神論は充分に何回も聞かせていただきましたので、分かります。具体的にどのように進んでいくのか。特に推進室との関係とコンサルとの関係で、町長の方向性をどのように示していくのか、それについて、もう1度答弁をお願いします。
- 議長 金子 廣司 町長。
- 町長 上坂 隆一 それは組織ですから、報告、連絡、相談といった中で、必要事項について、トップとして指示や変更等、私の意志ということで、日常的にこれまでも行っております。今回の入札にあたっての考え方等については、室長から企画等も含めて確認して示していることですから、そのような形で皆さんにも信頼していただきたいと思っております。
- 議長 金子 廣司 楠 順一議員。

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

- 議員 楠 順一 答弁と聞きたいことが噛み合わないで、平行線のままなので、少し視点を変えてお聞きします。

道の駅に関してですが、国土交通省へ行って、国土交通省の現在の方向性の話を聞いて、月形町の皆楽公園は非常に評価されたということですけど、具体的に詳しく、どのような協議ややり取りがあったのか、その辺について開示していただくわけにはいかないですか。
- 議長 金子 廣司 町長。
- 町長 上坂 隆一 道の駅のことに特化して協議の場を設けて協議したということではなく、皆楽公園の様々な管理等の問題も含めながら話をし、その中の一つとして、新しい道の駅の国土交通省の考え等を聞かせていただき、そのやり取りの中で、この間、全員協議会で説明したような皆楽公園の既存の施設プラスアルファの中で、新たな道の駅としての評価が良い、というように話されたという報告を受けています。
- 議長 金子 廣司 楠 順一議員。
- 議員 楠 順一 その辺の話が非常に重要であると思うのです。道の駅というのは、我が町が手を上げて名乗ってできるものではないですから、国土交通省の道の駅の制度の中にノミネートして採択されて、それで初めて名乗れるということなので、その辺のやり取りの中身というのは、我々議会に、できれば町民にもきちんと示して、理解を得る、あるいは情報共有することが、これからの議論をスムーズに進めていく上では、大変重要であると思うのです。それを、明確にペーパーで示していただくことができるかどうか。示していただきたいということですが、答弁をお願いします。
- 議長 金子 廣司 町長。
- 町長 上坂 隆一 今、即答でき兼ねますので、少し時間をいただきたいと思えます。避難所機能も含めた「第3の道の駅」という国土交通省の考え方等ということについては、全員協議会で説明をさせていただいていると思えます。これは町が公表するというより、国土交通省がそのような形で全国に発信していることですから、そのことについては、改めてきちんとお示ししたいと思います。
- 議長 金子 廣司 楠 順一議員。
- 議員 楠 順一 申し訳ないけれど、我々も国土交通省のホームページ等を見たら、そのようなものは出ているので、分かるのです。問題は、直接的に国土交通省と協議して、月形町に対してどのように評価をされて、どのように考えているのか、言葉で「非常に評価された。」ということは分かりますけれど、もう少し具体的に、公にされているものは良いですから、それは資料としていただくのは構いませんけれど、もう少し、それは公表をはばかれることがあれば別ですけど、役所同士で話していることですし、お互いに公務でやっていることですから、そのようなことは無いと思うのですけれど、私的に会合しているわけではないと思うので、そのようなことは、少なくとも我々議員と認識を共有する上で示していただいて良いと思うのです。それ

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

について、もう一度お聞きしたいのですが。

- 議長 金子 廣司 質問の回数を超えていますが、お互いに噛み合っていないので続けさせていますが、町長ももう少し、この間の全員協議会では、企画振興課長がある程度のきわどい所まで説明をしているのだから、やはり、資料がきちんとあるなら出してもらうという対応をしてもらわないと、実際に我々も今の行政の進め方を見てみると、どちらを優先順位にしているのかも分からないし、考え方がどちらなのかピンとこないところがあるから、その辺、もう少し明確にしてほしいと、楠議員が聞いているのはそこであると思うのです。町長は9月定例会までに何とか方向性と言ったけれど、予算付けして進んでいるのに、先ほど楠議員が心配していたように変更できるのかということも出てくると思うのです。

- 議長 金子 廣司 暫時休憩いたします。 (午後 2時47分休憩)

- 議長 金子 廣司 休憩前に引き続き会議を再開します。 (午後 2時54分再開)

- 議長 金子 廣司 楠 順一議員。

- 議員 楠 順一 今の答弁では、平行線の部分もありますけれど、一言だけ申し上げたいのは、町長が車の両輪のお話しをして、私もそれに同感して、お互いに一定の距離を伴いながら、同じ方向を向いて歩んで行こうという意味だったのですが、今の状態は下手すると自転車の両輪のように前と後になってしまうように感じます。我々は後ろに乗かって、前が背中で見えない中で、どこに向かっていくのか分からないで、前と後の両輪で進んでいくみたいな形にはなるべきではないと思うので、その辺をご理解いただきたいということで、この質問は終わります。

- 議長 金子 廣司 暫時休憩いたします。 (午後 2時55分休憩)

- 議長 金子 廣司 休憩前に引き続き会議を再開します。 (午後 3時05分再開)

- 議長 金子 廣司 楠 順一議員。

- 議員 楠 順一 2点目の質問に入りたいと思います。JR札沼線跡地活用に対する町長の姿勢についてということで、午前中に2名の議員からこれに係わる質問も出ておりました。その中で、私は町長の真意について伺いたいと思っております。

通告書に書かせていただきましたけれど、現在、町はJRからの譲渡に向けて札沼線跡地活用の素案を示し、町民への説明会も実施されましたが、私も参加しましたが、参加者は限られておりました。一方で、翌日の北海道新聞には、町営住宅や公園整備の検討とあり、これは説明会の内容そのものですが、北海道新聞に載るとい

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

ことは、町民にとってはあたかも既定事実であるかのように受け取られたのではないかという気がしております。

素案の内容につきましては、レガシー、遺産の保存という表現もありましたけれど、駅舎の解体やホームの撤去を含み、跡地を過去の遺物のような扱いにしているということで、心が痛い思いをしました。

1点目の質問ですけれど、上坂町長は苦渋の決断を下した重みと素案に対する町長の真意についてということで、町長はJR廃線を受入れ、沿線4町のまとめ役として、苦渋の決断として最終的に廃線受け入れを決断いたしましたけれど、振り返ってみますと、現在の動きは余りにも変わり身が早いのではないかというような感じを受けております。苦渋の決断というのは、私も含めて町民にとっても同じです。あの時、JR廃線に向けたさよならイベント等で、私の家の近くにも撮影に来られた鉄道ファンも大勢いました。また、廃線イベントにたくさんの方が押し寄せるのではないかということで、危機管理をどうするのかと心配した覚えもあります。ですが、それに合わせて、全国に月形町の名前を知らしめる絶好のチャンスではないかということもあって、ある意味で5月6日のラストランに向けて、不安と期待が大きくあったと思います。役場の皆さんもその準備に奔走した時期もあったと思いますけれど、しかし、コロナ禍で残念ながら急遽前倒しして4月17日にラストランということになりました。人が来ないような企画ということで、普通のイベントではあり得ないような、人に来てもらわない企画内容で実施せざるを得なかったという非常に残念な思いをしており、そのような意味では、私も含めて町民間にも、どうしても割り切れない思いを残したまま廃線ということでした。廃線後は、先ほどの前段で議論した拠点化施設等に町の課題が移っていき、JR跡地をどうするのかということは、半ば置き去りにされたような状態でしたけれど、JRからの譲渡を受けるということで、この間から慌ただしく素案を提案されて、我々もどう受け止めて良いか分からない中で、沿線住民からは、早く譲渡してくれという声が出てきて、しっかりと向き合えないまま、それが進んできた思いがあり、前段の我妻議員の質問の中にもあったわけです。そこで、私たち自身の思いも去ることながら、町長はどのような思いでこの素案を敢行したのか、非常に疑問に思っております。JR廃線後のまちづくりと、松田議員の一般質問のタイトルにもありましたけれど、85年の歴史を刻んだ札沼線が無くなって、これからの月形町がどうなるのか考えるということは、141年の月形町の歴史です。そのうち85年は札沼線と共にうちの町があったわけで、それが変わるということは、町にとって最大の歴史的な節目ではないかと思います。それが、このような形でバタバタと、言葉が悪いですけれど、どさくさ紛れに進んでしまうことについて、非常に残念に思うし、これをこのまま見過ごして良いのかという思いがあり、今回この問題を取り上げさせていただき、私も一個人町民として提案もさせていただいております。

まず、1点、断腸の思いで苦渋の決断を受け入れた町長として、その重み、それか

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

ら、この素案を提案するに至る真意を伺いたいと思います。

- 議長 金子 廣司 町長。
- 町長 上坂 隆一 当初計画していた5月6日のラストランセレモニーを4月17日に早めたことも、苦渋の決断でありました。当別町はコロナ禍なのでラストランも何もやらない、新十津川町はコロナ禍であったとしても歴史ある札沼線であり、これまで準備をしてきたセレモニーをやらないで終わることは考えられない、ということで、廃線を受け入れる、受け入れないという話し合いをしてきた時と同じ流れで4月17日のことがありました。しかし、どんな形にせよ、私が4町の代表ということでは、このことを誰にぶつけても仕方がないことでありますし、4人の中では町長になったばかりの新しい代表ですから、大したことはできないと思っています。

私は、変えるべきものをきちんと変える。変えてはならないものをきちんと守る。といったことを、しっかりやらなければならない。町長というのは、必ずしも町民の人たち全てが良しとしないことであっても、決断しなければならない立場にあるということ、これまでの自分の人生経験の中でも、たくさんそのような場面に立たされていることは、自分の能力の無さや力不足の所かなと思っています。しかし、日々やらなければならないことが山積みであります。月形町議会にまちづくり常任委員会もあるということも含めて、今回、まちづくり推進室を設置して、あらゆる課題、そして新しいまちづくりに向かっていこうと、輝かしい歴史は歴史としてきちんと守りながら、変えなければならないものについては、しっかり検討し、きめ細かい町民への説明や声を聞きながら、しっかりやっていかなければならないと思っています。決して軽々に物事を進めているとは思っていませんけれど、そのことについては、私が評価するのではなく、周りの人たちが評価することありますので、しっかり受け止めて、苦渋の決断をした私として、責任ある発言、行動、職員へのリーダーシップをとっていかなければならないと思っています。先ほど、一部答弁させていただきましたけれど、1期目に当選して議会の皆さんと車の両輪ということで、意見の違う議員もおられましたけれど、1期目は良い関係で議会と対話を進めて、JR札沼線廃線問題についても何とか乗り切ったと思っています。そして、2期目、これからがもっと大変な時期になり、今定例会の一般質問では、多くの議員から、議会との関係について認識が甘いのではないかとわれ、再び議員からこのような形でご指導いただきましたので、コロナ禍で頻繁に会議等が開けない、自粛しなければならない状況にありますし、会議等も短時間でということもありますが、会議が対面でできなくても、先ほどから言われている情報の共有等を丁寧に、まずは議会の皆さんとしっかりやって、今後、多くの課題の取り組みについて、半歩でも一歩でも前進したいと思っていますので、よろしくお願いします。

- 議長 金子 廣司 楠 順一議員。
- 議員 楠 順一 言葉の真意を問うたはずですけど、どうも私には伝わって

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

なくて、あえて理解するとしたら、議員は反対かもしれないけれど、自分の考え方に基づいて粘り強く進んでいくという決意表明と受け止められます。今回のこの問題については、やり方も含めて、その内容も苦渋の決断を受け入れた、先ほど私が申し上げた85年の札沼線の歴史ということも考え、これからお話しするいろいろな現在の社会状況も含めて、これについては、後段お話しする旧石狩月形駅舎の問題については、一議員として保存を求めていきたいということをお願いしておきたいと思っております。

まず、その問題に入る前に、JRとの協議は始めていると思うのですが、これも前段の質問と同じようにJRとの協議の中身について、微妙な問題もあるかもしれませんが、骨格的な部分、例えば駅舎に関する今後の問題も含めたJRとの協議内容について、伺いたいと思っておりますけれども、どのような内容になっているのか、お願いしたいと思います。

○ 議長 金子 廣司 町長。

○ 町長 上坂 隆一 JRとの具体的な協議内容等についてということですが、4月以降に鉄道敷地等も含めて譲渡するという話は廃線を受けた時、それに係わるレール撤去費用、鉄橋、踏切等について、JRが先行してやることについては、部分的には既に進んでおりますが、今、議員が求めておられるような駅舎解体、保存等については、JRと協議するまでにはなっておりません。今のところ、皆さんにお示しするような、JRがどのような形で、いつにどれだけの費用を町に支払って、どのような譲渡契約を結ぶのかということについては、まだ何も決まっております。話し合いもしてございません。

○ 議長 金子 廣司 楠 順一議員。

○ 議員 楠 順一 もう1点、新十津川町が早くに駅舎撤去等、記念公園のような形でいくつかのモニュメントを残すような報道がされていましたが、新十津川町や浦臼町と足並みを揃えるというような調整はあったのでしょうか。

○ 議長 金子 廣司 町長。

○ 町長 上坂 隆一 そのことについては、4町で協議等は一切してございません。浦臼町の旧晩生内駅の駅舎が、積雪で一部破損して、JRで責任を持って解体をするという報道を聞いて知りましたが、そのことについては、足並み等、一切協議をしてございません。

○ 議長 金子 廣司 楠 順一議員。

○ 議員 楠 順一 1点目の質問については、私の質問の真意が町長に伝わらない中で、これ以上質問しても平行線であると思っておりますので、これについては終わります。

2点目、旧石狩月形駅舎の保存についてですが、私も含めてですが、沿線の農業者との協議というのは、これから進むと思っておりますけれども、それらは私自身もよく分かるのですが、不便を強いられた農業者が跡地に対するいろいろな考え方を持っているというのは、十分に理解できるので、それには誠意をもって対応していただき

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

たいと思いますので、理解いたしますけれど、駅舎の中でも旧石狩月形駅舎については、先ほど言ったような混乱があつて、しっかりと私自身も向き合えてなかったのですが、改めて考えてみたら、この駅舎の存在は月形町141年の歴史のうちの85年ということもあります。例えば、同窓会で訪れた人たちがそこで記念撮影をする等、町民ならずとも月形町を訪れた人が、札沼線があつてJRを利用して来たという思い出も含めて、無くしてしまえば永遠に戻ってこない存在ですから、利便性や町長が言っていた、変えなければならないものは変えるべきであるということも分かりますが、私は残す価値があると思っております。特に、南北に長い月形町において、北と南に住む町民が他に交通手段のない時に、駅で集まり別れてという思い出の場所でもあり、もっと大きな視点で言えば、昭和という時代の農村風景を表す貴重な歴史的遺産であると思うのです。先ほど、我妻議員が質問で取り上げていただきましたけれど、熊谷さんから聞いたことがあるのですけれど、他の人はあまり知らないと思っておりますけれど、札幌市にある北海道開拓の村が出来た時に、北海道から今の樺戸博物館の入り口、旧樺戸監獄事務室の建物を譲ってほしいという話があつたらしいです。それを熊谷さんは、身を徹して絶対反対であるということで、あの手この手で残したということでした。その当時、役場内でもいろいろな意見があつたらしく、熊谷さんが頑張つて残さなかったら、今の建物は残っていませんし、樺戸博物館も今のような形になっていかどうか分からないと思うのです。その時にどれだけ価値が分かっている人がいたのかということです。後になってみれば、あの建物は新たな歴史的な価値をもって輝いているわけです。私は本当に熊谷さんには感謝したいと思っておりますけれど、今、私たちが同じような立場に置かれていると思うのです。博物館は明治の歴史ですが、141年の月形町の歴史のうちの39年です。札沼線は85年で、その間、我々の生活を支えてくれたのです。それで、もう用が無くなったから更地にしても良いのだろうかと思つて強く思つています。もちろん、未来のことも大事ですが、今まで我々が世話になってきた札沼線のシンボルである駅舎は、最低限の努力をして残していきたいと思っております。最近では鉄道ファンの中で、廃線後を訪ねる旅が人気となっております。関連する書籍もかなり出ております。これは、私が提出したJR札沼線跡地活用の素案に対する個人的意見にも入れさせていただいておりますけれど、テレビ等でも廃線を訪ねる旅番組が放送されておまして、過去に対するノスタルジーかもしれませんけれど、新しいジャンルの旅になりつつあるということも聞いております。そして、先ほど言ったように、おそらく全国で廃線になった鉄路の中で、コロナ禍によって、きちんとしたイベントができないまま前倒して廃線になった路線は、他にはないと思うのです。そのような意味でも札沼線の中核的な駅であつた旧石狩月形駅は、鉄道ファンにとっても惜しまれる価値のある存在であると思っております。そのような意味で、樺戸博物館とある意味で同等に近い価値のある建物であると思っておりますけれど、そのような観点での町長の旧石狩月形駅舎に対する保存について、現時点での考え方

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

を伺いたいと思います。

- 議長 金子 廣司 町長。
- 町長 上坂 隆一 改めて苦渋の決断をしなければならないと思っております。個人の意見として、駅舎に対する思いというのは、控えさせていただきますけれど、私は、留萌管内の羽幌町で生まれ、小学生の時に鬼鹿町の祖父の家へ行く時にいつも乗っていた羽幌線が廃線になりました。そして、栗沢町の福祉村に勤務していた時に万字線が廃線になりました。そして、月形町長になって札沼線が廃線ということで、3つの廃線に係わった者は、あまりいないだろうと思っております。羽幌線は、未だ旧羽幌駅が駅前バスターミナルとして残っております。そのことも含めて、議員の気持ちも充分に分かります。また、町長室に來られて「駅舎等はいつ壊すのか。」と言う町民の声も聞いております。そのようなことも含めて、駅舎だけではなくて、跡地の利活用ということについても、前段、我妻議員から札比内地区の農家の声も聞いていますし、南地区の議員の近所の住民の声も聞いております。町民皆さんの意見を踏まえ、様々な角度から検討し、方針を決めていかなければならないと思っております。冒頭、北海道新聞の記事は、町民にとっては非常に重要なニュース、町民の理解ということも議員も言われましたけれど、3月定例議会後の北海道新聞の記事を見て、「町長は道の駅を皆楽公園に造るのか。」と言ってきた町民もおられます。けして、北海道新聞などの町民の受け止めに意識して、意図的に何かやり取りをするとか、役場全体としてもそのようなことはないということをつけ加えさせていただきます。今後しっかりと意見交換し、町民の意見等についても、議員もいろいろと確認していただきたいと思っておりますし、もちろん私が先頭に立って町民の意見をしっかりと聞いて、しかるべき判断をしたいと思っております。

- 議長 金子 廣司 楠 順一議員。
- 議員 楠 順一 私自身が保存していただきたいと申し述べましたけれど、それはそれとして、やはり85年の歴史を刻んだものを、しっかりと判断して、町長にも歴史的価値というもの、歴史の町を標榜するうちの町が、簡単に85年の歴史を刻んだ物を駅舎一つ残さないで、全く違った形にするということの意味をしっかりと考えていただきたいと思っております。

そこで、私なりにいろいろと調べてみまして、先ほど、我妻議員の質問の中に出たトロッコのグループの代表の服部さんに、駅舎の保存についての事例を聞いてみたのですが、一つは別海町の奥行臼駅、もし必要であれば後ほど資料を担当者に見ていただきたいと思っておりますが、奥行臼駅ですけれど、これは別海町にあるのですけれど、厚床一中標津間の駅で、昭和8年に開設され、平成元年に標津線が廃線になって56年間の歴史を閉じております。別海町は、廃止になった鉄道を本町近代化に欠かせない役割を担ったとして、その足跡を残す歴史的建造物として、昭和初期の建築様式を留める駅、島式ホーム、詰所、石炭小屋等周辺施設を含めて町の文化財に指定している

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

のです。また、その後、撤去されたレールを新たに敷設するなど、路線廃止以前に近い形で復元して、現在はそれを公開しております。これはある意味、行政主導で、自分の町の歴史を物語る遺跡として保存していくということでございます。もう一つ、参考になったのは、新潟県月潟村で、これはご存じの方もいるかと思いますが、私は中和小学校の角兵衛獅子保存会で子どもたちと指導を受けに行ったことがあります。その月潟村には、私鉄、新潟交通がありまして、新潟交通月潟駅があったのですが、これも昭和8年に開設されて月潟村に月潟駅ができており、その駅の周りに市街地が形成されていたのですけれど、これも平成11年に廃止になって、私が平成8年か9年頃に訪れた際には、まだあったのではないかと思いますけれど、その後、経営悪化等の理由で平成11年に廃止になっております。廃止決定後、地元や鉄道ファンの有志らが電車線の貴重な資料として残したいということで、車両施設の保存運動を展開しまして、3両がかつての鉄道構内に静態保存されているということでございます。その保存活動には、東京にある交通博物館の学芸員が随分応援してくれたらしく、その方はもう亡くなっている方ですけれど、その方のアドバイスもあって残され、それを月潟村が公園として整備して、駅舎もほぼ当時のまま残っているということで、鉄道ファンの中では有名らしいです。かぼちゃ電車という緑と黄色のツートンカラーの電車があり、人気であるということで保存されているということでした。私が胸を打ったのは、そこに「こころの停車場」という看板が掲げられていて、これは非常にやられたなという感じですが、それが皆の思いを引き受けて、地元住民と鉄道ファンが今も保存会として保存活動をしているということで、これは、行政と民間有志の力が合わさって残されたということで、2つの典型的な形ですが、このような事例もあります。月形町もそのような存在になりたいと、役場に全てをお願いしてということではなくて、私自身がどれだけ貢献できるか分かりませんが、町民や鉄道ファンの応援してくれる方々もいますので、それらの人たちの力も借りながら、何らかの形で残していけないだろうかということを提案したいと思います。それに対して、どのように町として対応していただけるか、まだ具体的な話にはならないと思いますが、精神論になるかもしれませんが、町長に答弁いただきたいと思います。

- 議長 金子 廣司 町長。
- 町長 上坂 隆一 町民への第1回目の意見集約を行い、10件の様々な意見がありましたので、それらを整理し、それでもう終わりということではなく、今、議員のおっしゃった月潟村の月潟駅は私も見ましたが、そのようなことも含めて、十分に意見交換をしながら、駅舎だけのことではなくて、新しい月形町のこれからのまちづくり、20年後、30年後を見据えてのまちづくりについて、多くの課題について、しっかり議論し、まちづくり推進室の取り組みをしていきたいと思っております。今後とも、議員の皆さんと一緒にしっかりと考え、検討していきたいと思います。

令和3年第2回定例会 1日目（6月8日）

- 議長 金子 廣司 楠 順一議員。
- 議員 楠 順一 了解しました。
- 議長 金子 廣司 以上で一般質問を終わります。

- 議長 金子 廣司 以上で本日の日程は全て終了いたしました。本日は、これをもって散会いたします。なお、6月9日の本会議は午前10時から再開いたします。
(午後 3時47分散会)